

平成23年3月期 決算補足説明資料

2011年5月

東和薬品株式会社

(証券コード: 4553)



まとめ

- 売上高は461億4千5百万円となり、前年同期比で18.2%増加した。後発医薬品調剤体制加算の見直しにより、保険薬局向けの売上が増加した。製品別に見ると、アムロジピン、ランソプラゾールの伸長に加え、従来品の売り上げも増加した。
- 保険薬局向けの売上が高い水準で横ばいが続いている傾向は変わっていない。当社の納入先別売上では、保険薬局が診療所を上回っている。
- 代理店の営業所化・営業所の新設(営業所数14→29)、本社取引の拡大などにより、直販比率が増加している。
- 次期の計画は、後発医薬品調剤体制加算の見直しの影響は一巡したが、アムロジピン、ランソプラゾールなどの伸長に加え、新規収載品の売上寄与などにより、売上高12%増。なお、本計画は、東日本大震災の影響は軽微との前提で策定している。

2011年3月期 決算概要

期	11/3			10/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	46,145	100.0	+18.2	39,043	100.0
売上原価	21,348	46.3	+13.6	18,793	48.1
販管費	15,142	32.8	+21.1	12,504	32.0
営業利益	9,654	20.9	+24.7	7,744	19.8
経常利益	9,396	20.4	+26.5	7,430	19.0
当期純利益	5,846	12.7	+27.1	4,601	11.8

2011年3月期 決算概要(計画比)

期	11/3			11/3 計画 (11月8日発表)	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	計画比 (%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	46,145	100.0	+ 1.9	45,300	100.0
売上原価	21,348	46.3	+ 0.2	21,300	47.0
販管費	15,142	32.8	+ 1.6	14,900	32.9
営業利益	9,654	20.9	+ 6.1	9,100	20.1
経常利益	9,396	20.4	+ 6.8	8,800	19.4
当期純利益	5,846	12.7	+ 6.3	5,500	12.1

2011年3月期 決算概要

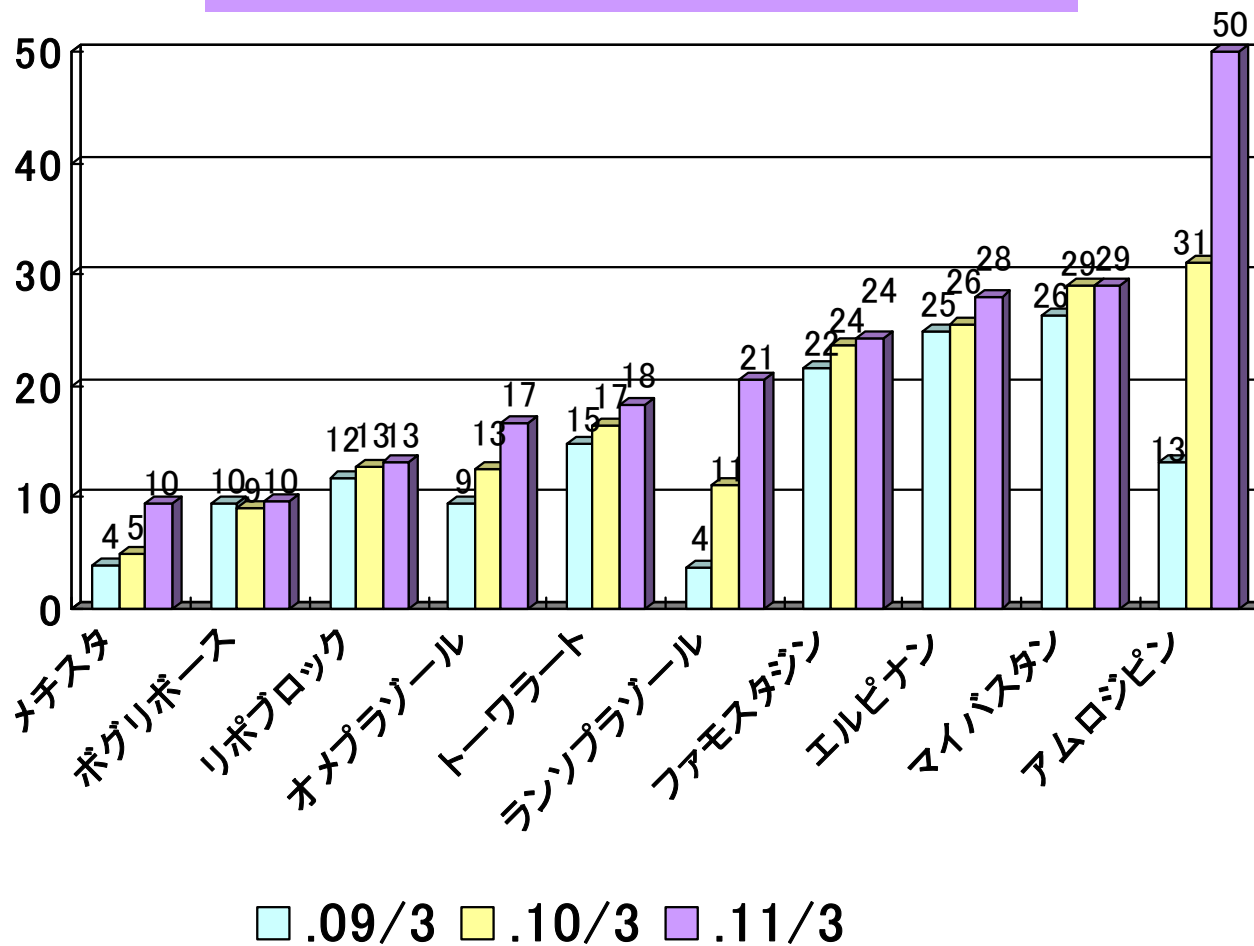
(単体)

期	11/3			10/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	44,780	100.0	+18.4	37,836	100.0
売上原価	20,754	46.3	+14.0	18,205	48.1
販管費	14,639	32.7	+21.5	12,049	31.8
営業利益	9,386	21.0	+23.8	7,581	20.0
経常利益	9,137	20.4	+25.6	7,272	19.2
当期純利益	5,683	12.7	+25.6	4,525	12.0

主要製品売上高推移

成分別ではアムロジピンが売上トップ
うち、OD錠は72%

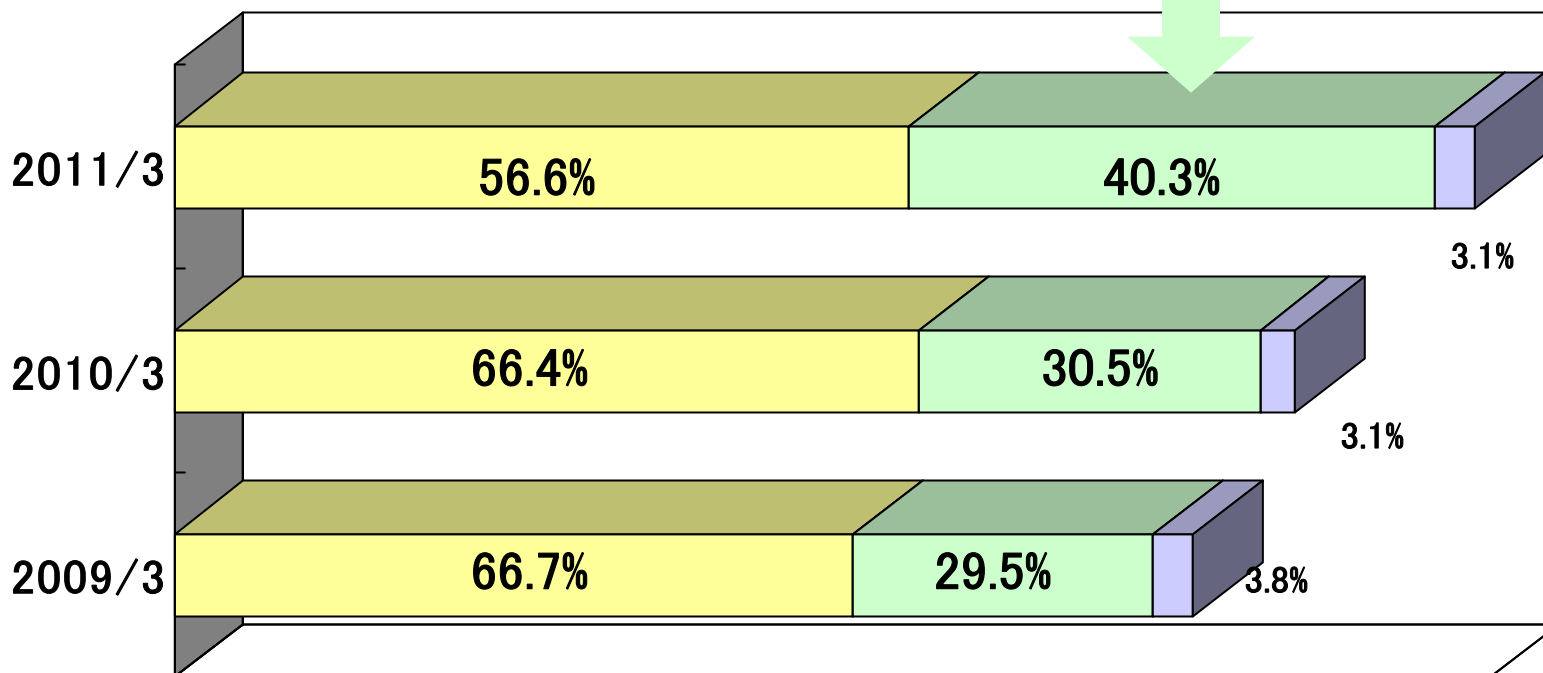
億円



売上高詳細(販路別)

(単体)

代理店の営業所化・営業所の新設(営業所数14→29)、
本社取引の拡大などにより、直販比率が増加

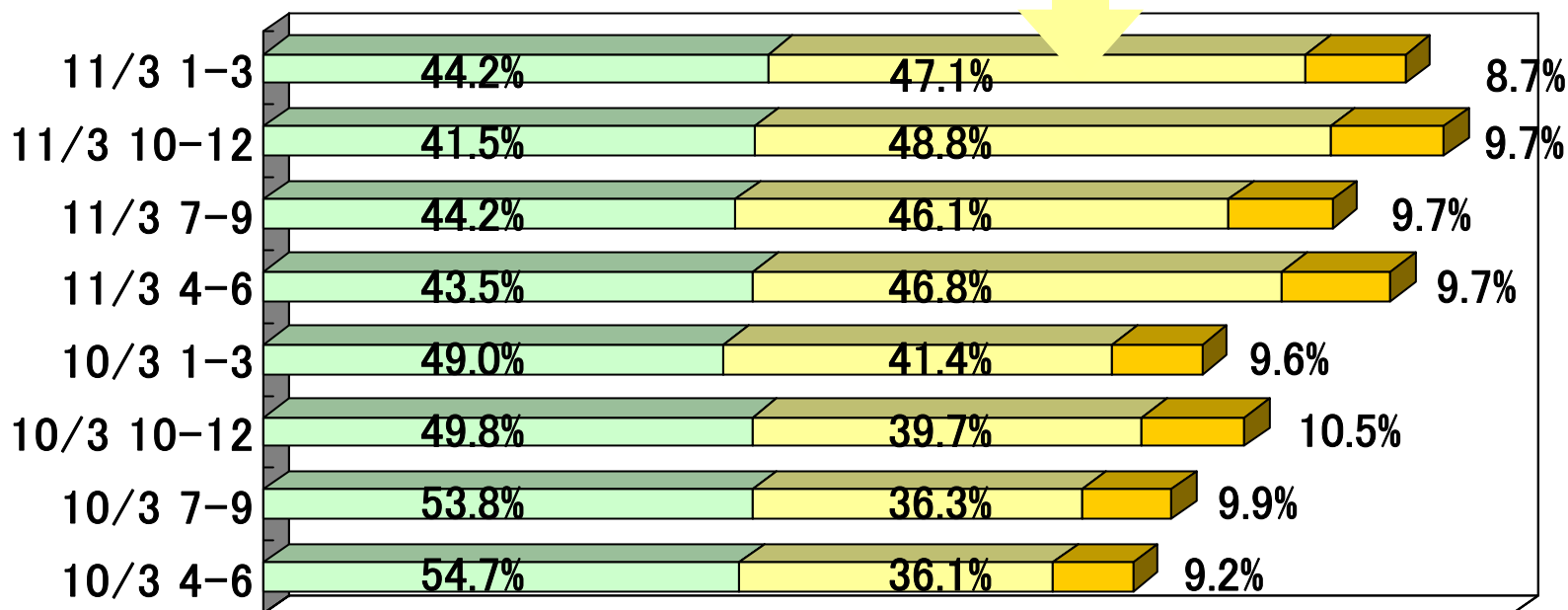


■ 代理店 ■ 営業所・本社 ■ その他(他社販売・受託・輸出)

売上高詳細(納入先別)

(単体)

後発医薬品調剤体制加算の見直しにより
4月に急拡大した保険薬局向け売上は、6月以降は高い水準で横ばい。



■ 診療所 ■ 保険薬局 ■ 病院

(他社販売等を除く。診療所+保険薬局+病院を100%としている。)

販売費及び一般管理費

期	11/3			10/3	
項目	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
人件費	6,761	14.7	+14.9	5,886	15.1
研究開発費	3,260	7.1	+27.1	2,565	6.6
広告宣伝費	881	1.9	+ 8.4	812	2.1
その他	4,239	9.2	+30.4	3,250	8.3
販管費	15,142	32.8	+21.1	12,504	32.0

貸借対照表

(百万円)

項目	11/3	10/3	増減
現金及び預金	9,531	10,941	-1,410
受取手形 及び売掛金	16,024	14,726	+1,297
たな卸資産	13,480	10,841	+2,638
その他流動資産	3,420	1,174	+2,246
流動資産計	42,456	37,684	+4,771
固定資産計	30,508	22,820	+7,687
資産合計	72,964	60,504	+12,459

たな卸資産の増加

＝製品在庫増、購入原材料増

固定資産の増加

＝建設仮勘定(山形工場)の増加

長期借入金の増加

＝山形工場建設資金の銀行借入

項目	11/3	10/3	増減
支払手形 及び買掛金	6,504	5,557	+ 947
1年内返済予定 の長期借入金	500	0	+ 500
その他流動負債	9,895	8,002	+1,892
流動負債計	16,899	13,560	+3,339
長期借入金	8,500	4,000	+4,500
その他固定負債	900	998	- 98
固定負債計	9,400	4,998	+4,401
負債合計	26,300	18,559	+7,741
純資産合計	46,664	41,945	+4,718
負債・純資産 合計	72,964	60,504	+12,459

キャッシュ・フロー計算書

(百万円)

項目	11/3	10/3
税金等調整前当期純利益	9,435	7,334
減価償却費	1,873	1,787
たな卸資産の増減額 (- は増加)	-2,638	-1,405
法人税等の支払額	-3,315	-2,877
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,739	6,557

項目	11/3	10/3
定期預金の預入による支出	-10,500	-9,500
定期預金の払戻による収入	12,000	4,500
有形固定資産の取得による支出	-8,594	-2,338
投資活動による キャッシュ・フロー	-7,854	-7,280

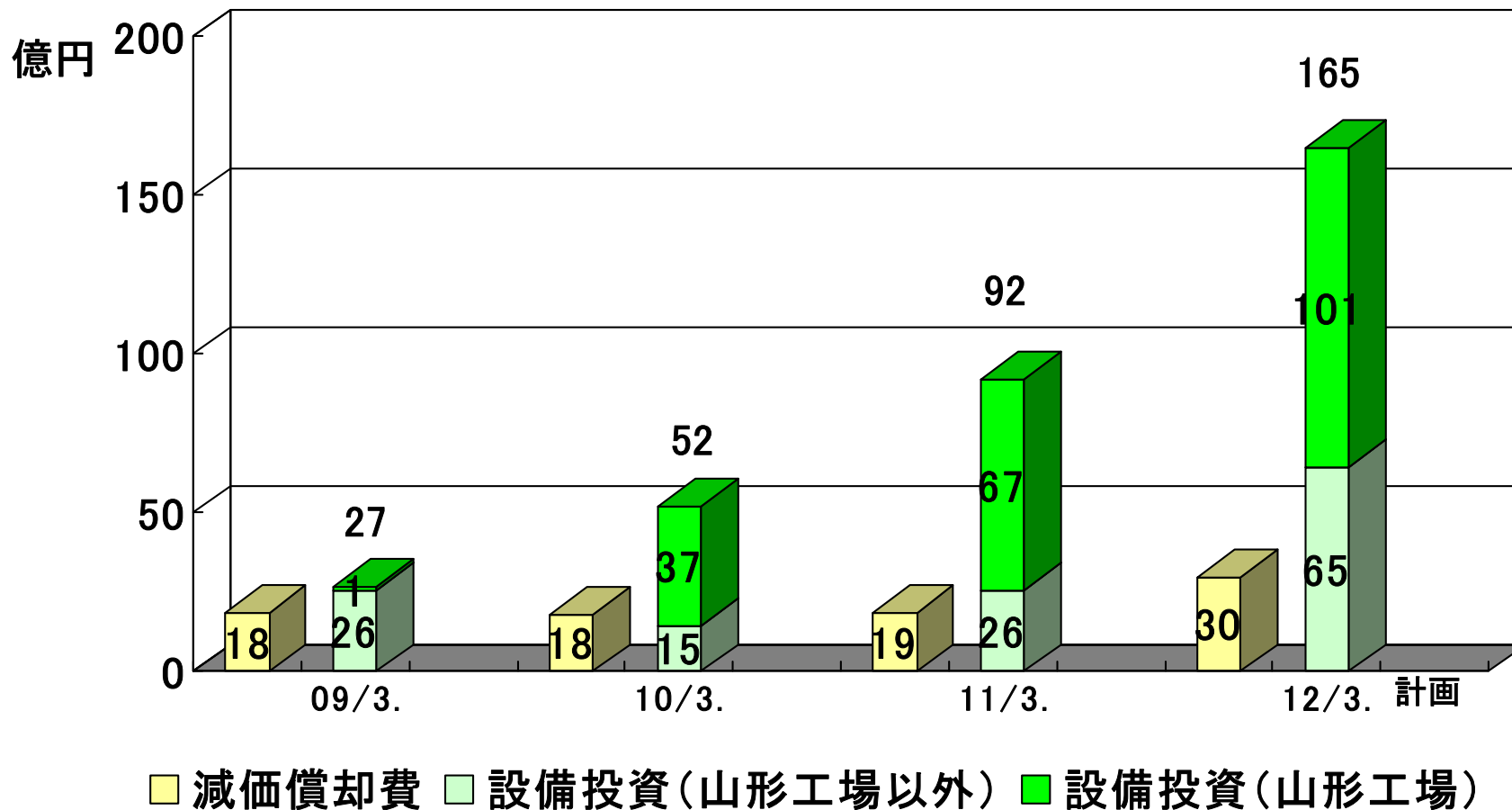
項目	11/3	10/3
長期借入れによる収入	5,000	4,000
配当金の支払額	-1,072	-775
財務活動によるキャッシュ・フロー	4,220	3,222

項目	11/3	10/3
現金及び現金同等物に係る換算差額	-16	16
現金及び現金同等物の増減額	2,089	2,516
現金及び現金同等物の期首残高	5,941	3,425
現金及び現金同等物の期末残高	8,031	5,941

2012年3月期 計画

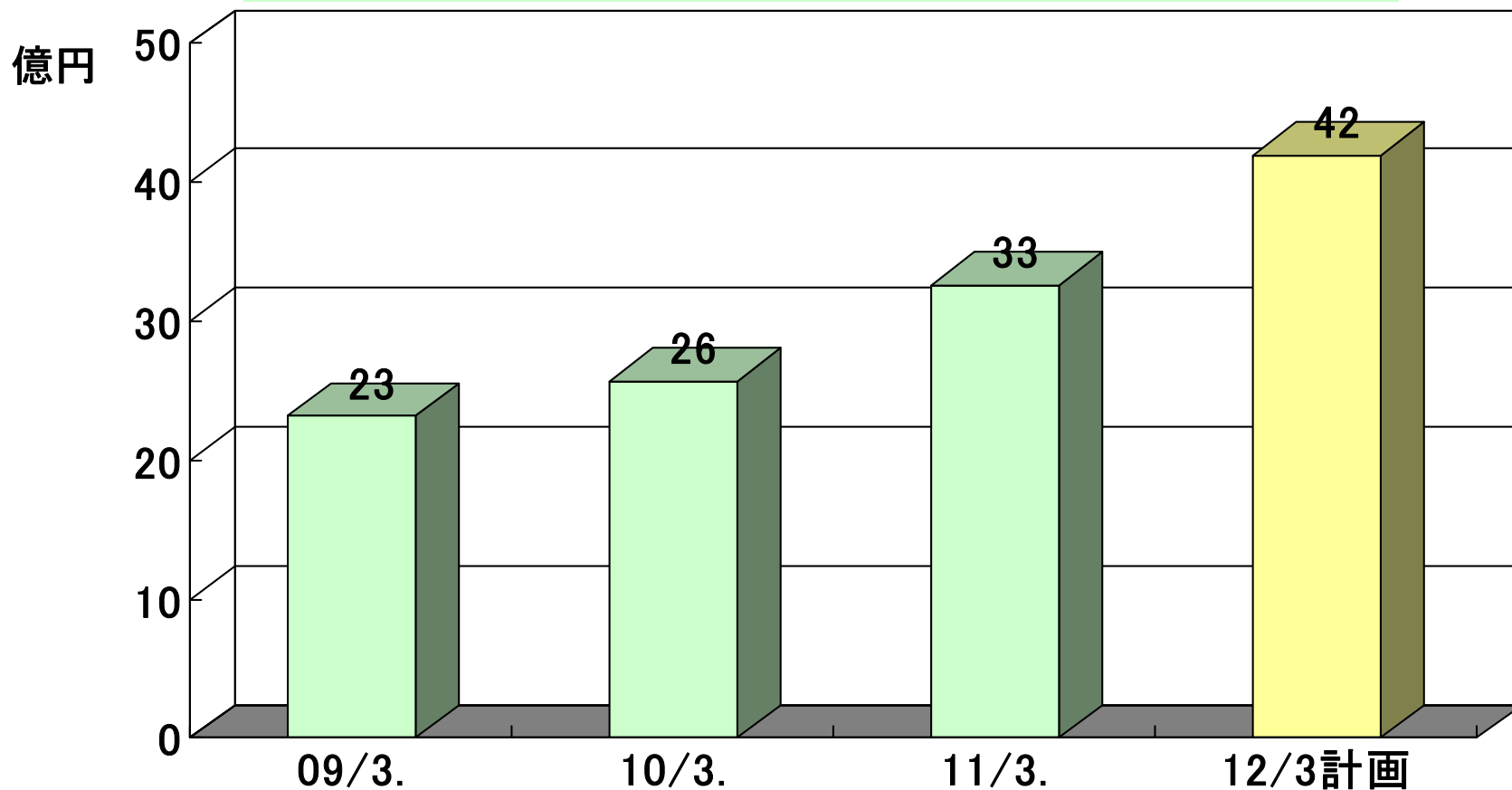
期 項目	12/3 計画			11/3	
	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)	前年同期 比(%)	金額 (百万円)	対売上高 比率(%)
売上高	51,700	100.0	+12.0	46,145	100.0
売上原価	24,300	47.0	+13.8	21,348	46.3
販管費	17,100	33.1	+12.9	15,142	32.8
営業利益	10,300	19.9	+ 6.7	9,654	20.9
経常利益	10,200	19.7	+ 8.6	9,396	20.4
当期純利益	6,300	12.2	+ 7.8	5,846	12.7

設備投資・減価償却費



研究開発費

2014年に大型品の追補のピークを迎えるため、
研究開発費も増加傾向にある。



2011年6月追補収載予定新製品

東日本大震災の影響により、5月追補が6月目処となる見込み

薬効分類名	販売名	先発医薬品名 (会社名)	2010年度 売上(億円)
インスリン抵抗性改善剤 -2型糖尿病治療剤-	ピオグリタゾンOD錠 15mg「トーワ」	アクトスOD錠15 (武田)	2
	ピオグリタゾンOD錠 30mg「トーワ」	アクトスOD錠30 (武田)	1
	ピオグリタゾン錠 15mg「トーワ」	アクトス錠15 (武田)	318
	ピオグリタゾン錠 30mg「トーワ」	アクトス錠30 (武田)	209
脳保護剤 (フリーラジカルスカベンジャー)	エダラボン点滴静注 30mg「トーワ」	ラジカット注30mg (田辺三菱)	133

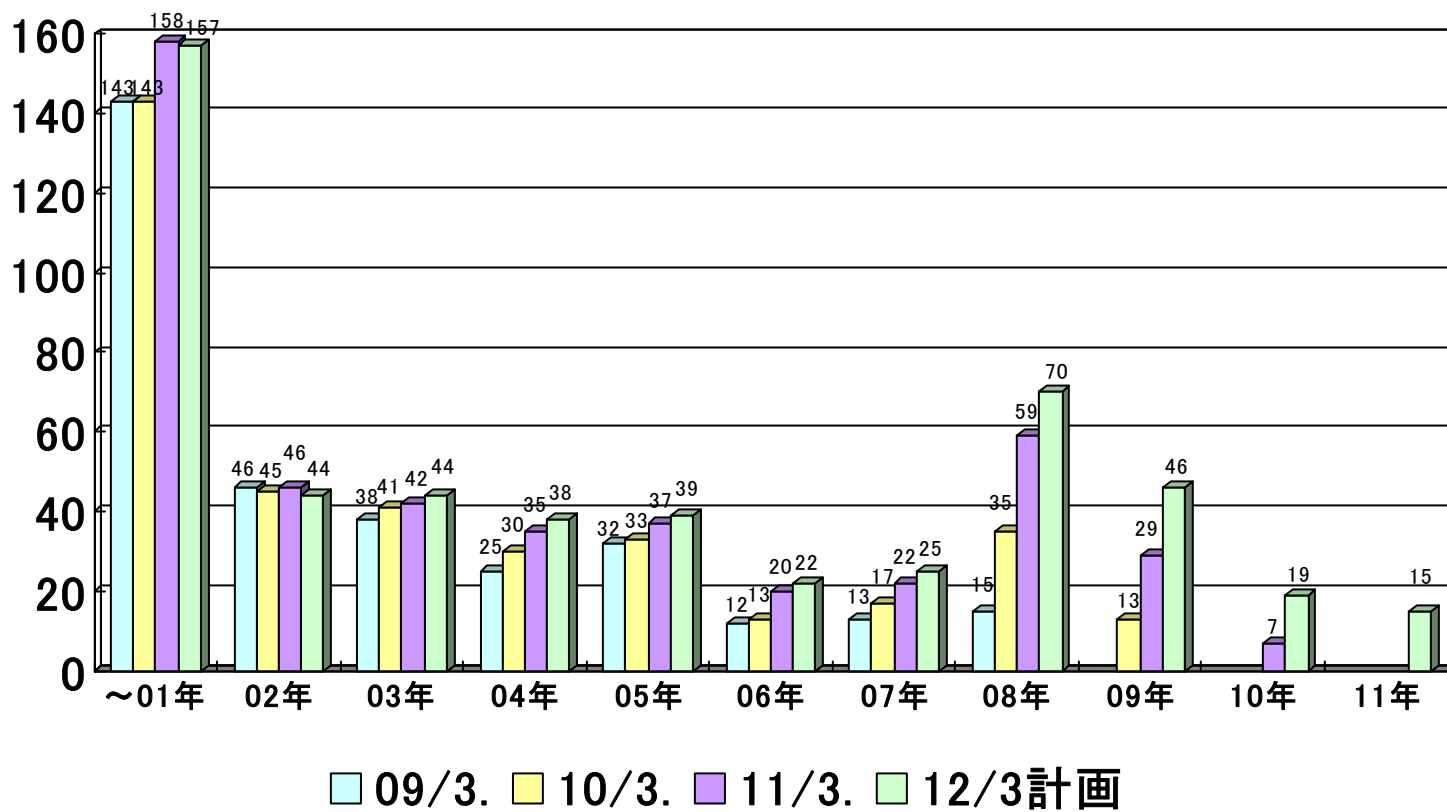
など、10成分 19品目を上市予定

追補年度別売上高推移・計画

08年追補(アムロジピンOD錠)、
09年追補(ランソプラゾールOD錠)の売上が大きく増加

億円

11年は大型品の追補を見込み、15億円の計画



東日本大震災の影響(東北地方)

5月10日現在

山形工場

現在建設中。

人的、物的被害なし。

建設作業に一部影響がでているが、当初計画どおり2012年3月までに稼働開始の予定。

山形第一工場

人的、物的被害なし。

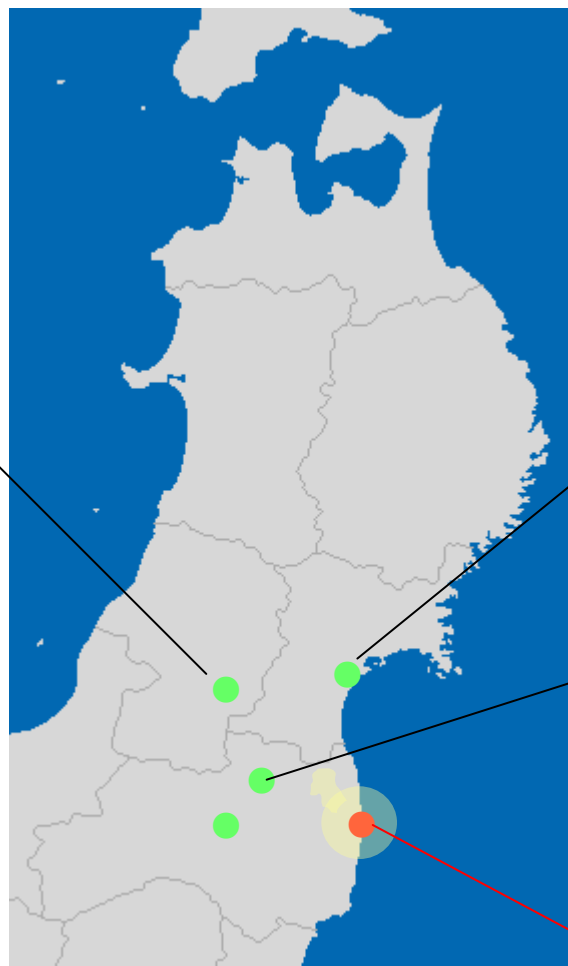
内用薬:通常通り生産

注射薬:地震直後の停電により無菌環境が失われたため生産停止。無菌環境回復作業を行い、4月27日に生産を再開した。

山形配送センター

人的、物的被害なし

3月中は緊急物流態勢の構築により対応したが、4月2日以降通常通りの配送体制に復した。



仙台営業所

人的被害なし

建物一部損壊

緊急通行車両確認標章の発給を受けて、医療機関、薬局への安定供給、情報提供活動をおこなった。

安定供給に支障はきたしていない。

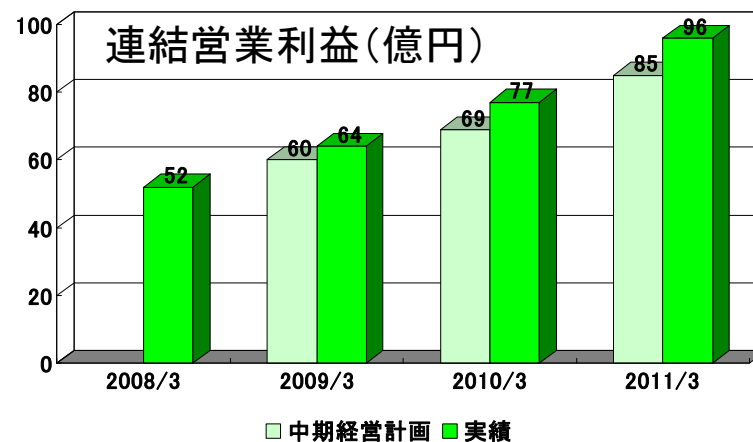
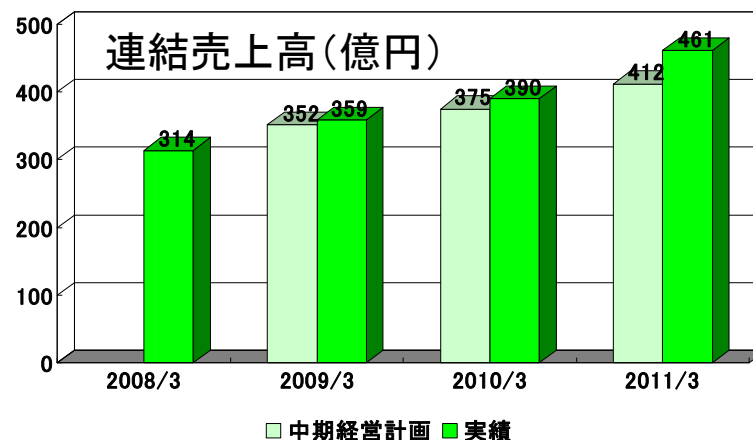
福島県

震災当初、福島県担当の当社MRは自宅待機としていたが、避難地域、屋内退避地域(~4/22)以外については安定供給活動を再開している。

福島第一原発

中期経営計画の策定について

- ・ 前中期経営計画(2008.4-2011.3)
- ・ 次期中期経営計画(2011.4-2014.3)を2011.5に策定・公表する計画であったが、東日本大震災の影響を精査するため、2011.11に延期することとした。





＜お問い合わせ先＞

東和薬品株式会社 経営企画部

ir@towayakuhin.co.jp

TEL : 06-6900-9101

FAX : 06-6900-0634

将来予想に関連する記述については、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。予想と異なる結果になることがある点を認識された上で、ご利用下さい。